

大飯3、4号機の1次系補機の制御システムのワークステーションの 故障を示す警報の発信について

平成24年8月21日15時36分に、大飯発電所3、4号機の中央制御室において、「1次系補機操作盤注意」の警報、現地盤において「34-1次系補機EWS^{※1}故障」の警報が発信しました。

現場確認の結果、1次系補機（廃棄物処理施設^{※2}）の制御システム^{※3}の保守管理を行うワークステーション^{※4}において、2台あるハードディスクのうちの1台が故障していることが確認されました。

当時、本ワークステーション内に保存されたデータのバックアップ作業^{※5}を行っていました。

本件については、ワークステーション内に保存されたデータのバックアップ作業中に発信した警報であり、1次系補機の制御システム自体には問題はなく、かつ、ワークステーションにおける残りの1台のハードディスクは健全であることから、データの欠損等も発生していません。なお、バックアップ作業は正常に終了していることから、バックアップ作業に起因するものではなく、ハードディスクの偶発的な故障と考えられます。

今後、故障したハードディスクの交換を行う予定です。

なお、大飯発電所3、4号機の運転に影響はなく、また、本件による環境への放射能の影響はありません。

- ※1 EWS（エンジニアリングワークステーション）
- ※2 放射線管理区域内で発生した気体や液体を処理する設備
- ※3 廃棄物処理施設の弁やポンプ等の動作を制御するシステム
- ※4 制御システムのソフトウェアの変更・更新等を実施するための専用のコンピュータ
- ※5 ハードディスク内の保存データを他の外部記憶媒体へコピーする作業

以上